

ひまわりの種の取り方

ひまわりの種の取り方は、種を取るタイミングがあっていれど、とても簡単です。具体的に種のとり方を写真とともにご紹介しますね!

福島ひまわり里親プロジェクト

検索

ホームページでは、種のとり方のわかりやすい映像がみれます!



1. 花が咲く時期が終わると、ひまわりの花は種ができて重くなって、頭が下がってくるようになります。(写真1)



2. 茶色の種がむき出しになっている状態が種を取るタイミングとしては理想的です。(写真2)
茎が青々としている時には、切断するにはまだ早い段階です。茎の色も切るタイミングの目安になります。



3. 下の葉が枯れて、上の茎が黄色く変色した場合には、花の部分のみをカットしましょう。花の部分を茎からはさみなどで切り取ります。(写真3)



4. 手で種の部分をちょっと触ってみると、種がぼろぼろと落ちてくる感じがベストです。(写真4)
十分に乾燥できていないと取りにくいです。鳥が来て、種を食べてしまうようなときには、花の部分を切り取って、風通しの良い場所で1~2週間乾燥させるのがいいでしょう。花から種を取る時は、魚を焼くときに使う網などを用意し、上から種の部分をこするようにすると種が取れます。



5. プロジェクトに送る際は必ず「4」をして、花から種を採り、お送りください。
花の状態で送ると、カビが生え、種が使えなくなってしまいます。
(写真5: わずか1日で左の状態から右のカビが生えている状態になってしまいます)

十分に乾燥し終わった種だけを、封筒に入れて切手を貼って送ってください。

種の受付期間: 10月~2月末日迄

■種の送り先

〒962-0052
福島県須賀川市西川字坂の下113
福島ひまわり里親プロジェクト事務局
TEL:080-1690-0711

※送料は里親さまにご負担をお願いしております。